



但馬水産技術センターだより



海況情報（K2530号）

令和7年10月15日

兵庫県立農林水産技術総合センター
但馬水産技術センター 発行

1. 日本海海況予報（2025年10月中旬～12月）

日本海における海況の予報をお知らせします。

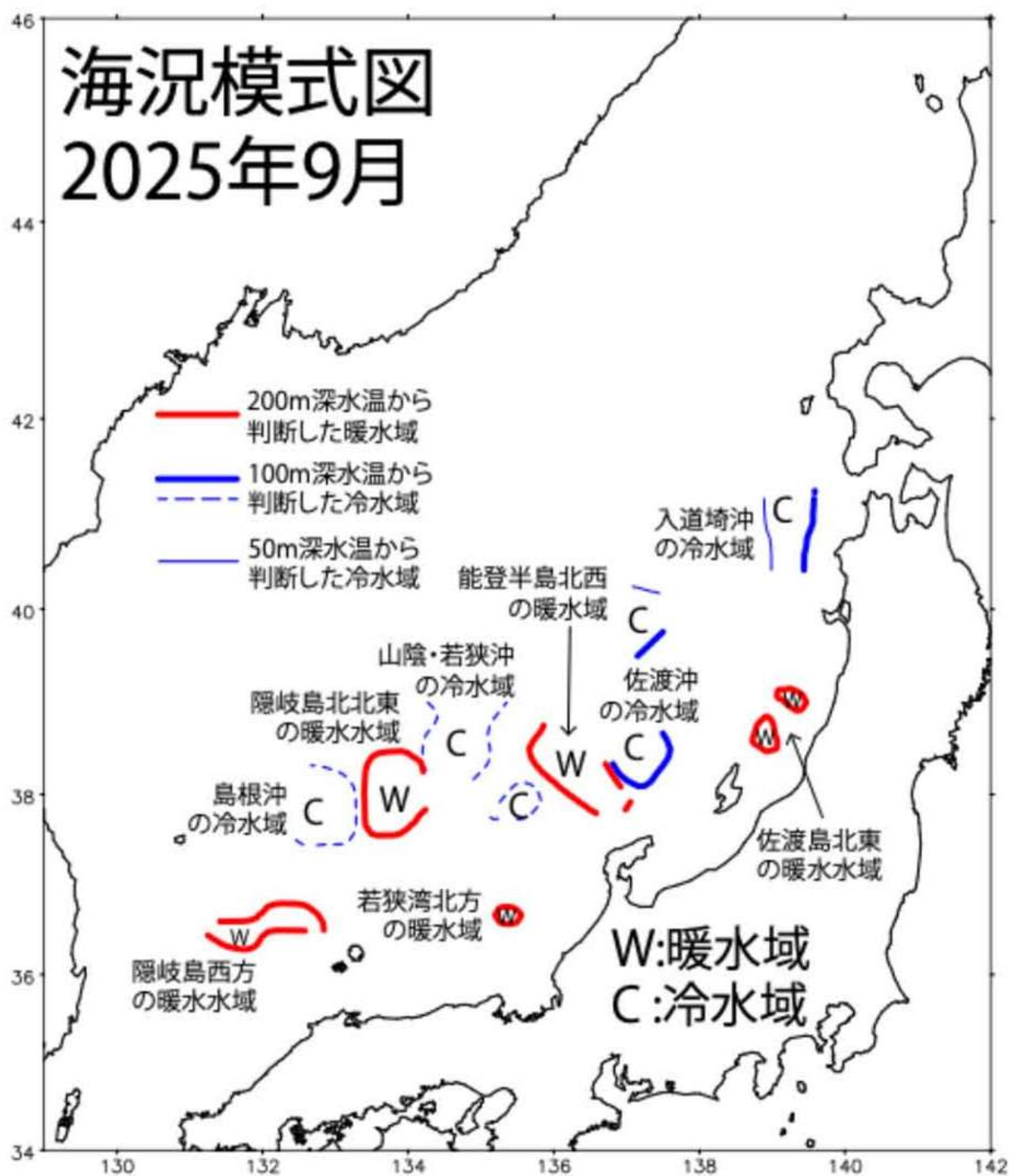
資料1

- ・2025年度第3回日本海海況予報（国立研究開発法人水産研究・開発機構 水産資源研究所）＊観測データの出所は但馬水産技術センターほか各府県等。

（コメント：10月中旬～12月の見通し一部抜粋、別紙の「2025年9月の海況模式図」参照）

- ・ 隠岐島西方の暖水域は弱体化し消滅する。
- ・ 隠岐島北北東の暖水域は弱体化し消滅する。
- ・ 若狭湾北方の暖水域は弱体化し消滅する。
- ・ 能登半島北西の暖水域は弱体化し消滅する。
- ・ 島根沖の冷水域の張り出しは、規模は「かなり小さく」接岸状況は「やや接岸」で経過。
- ・ 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模は「やや大きく」接岸状況は「やや離岸」で経過。
- ・ 対馬暖流域の表面水温は、「かなり高め」で経過。
- ・ 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部は「かなり高め」、北部は「やや高め」で経過。

お問い合わせ先：兵庫県但馬水産技術センター（中村） TEL：0796-36-0395 FAX：0796-36-3684
email：nouringc_tajima@pref.hyogo.lg.jp
ホームページ：https://www.hyogo-suigi.jp/tajima/



2025 年 9 月の海況模式図

出典：国立研究開発法人水産研究・開発機構

<https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/pr2025/index.html>

2025年度 第3回 日本海海況予報

1. 今後の見通し（2025年10月中旬～12月）

- (1) 隠岐島西方の暖水域は弱体化し消滅する。隠岐島北北東の暖水域は弱体化し消滅する。若狭湾北方の暖水域は弱体化し消滅する。能登半島北西の暖水域は弱体化し消滅する。佐渡島北東の暖水域は西方に移動し、能登半島北方に分布する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、かなり小さくやや接岸で経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、やや大きくやや離岸で経過する。佐渡沖の冷水域の張り出しは、面積、接岸距離ともに平年並みで経過する。入道埼沖の冷水域の張り出しは、面積、接岸距離ともに平年並みで経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は“かなり高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の水深50 m水温は、日本海西部で“かなり高め”、北部で“やや高め”で経過する。

2. 経過（(1)は2025年6月～9月、(2)～(3)は2025年6月～8月、(4)は2025年6月）

- (1) 6月に隠岐島北北東に見られた暖水域は、7月に停滞し、8月には欠測のため不明だが停滞していたと考えられ、9月にはやや南進して停滞。6月に能登半島西方に見られた暖水域は、7月には欠測のため不明だが停滞していたと考えられ、8月、9月には北東に移動し能登半島北西に分布。6月に佐渡島東方に見られた暖水域は、7月には勢力を拡大し佐渡島東方～山形西方に分布、8月には停滞、9月には勢力を弱め佐渡島北東に分布。7月に富山湾沿岸および上越沿岸で暖水域が出現、8月に消滅。8月に隠岐島西方で暖水域が出現、9月には勢力を強めながら停滞。8月に隠岐島東方で暖水域が出現し、9月には勢力を弱めながら北進し若狭湾北方に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、6月は規模が平年並みでやや離岸、7月は規模が平年並みでかなり離岸、8月は規模がかなり小さく接岸距離は平年並み。山陰・若狭沖の冷水域は、6月は規模・接岸距離ともに平年並み、7月は規模が平年並みでやや離岸、8月は規模が平年並みでかなり離岸。佐渡島沖の冷水域は、6月～8月は規模・接岸距離ともに平年並み。入道埼沖の冷水域は、6月～7月は規模・接岸距離ともに平年並み、8月は規模がやや小さくやや離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、6月は北海道西岸～西方で“やや高め”～“はなはだ高め”、山口北方、能登半島西方～北方、津軽海峡西方で“平年並み”、それ以外は“はなはだ低め”～“やや低め”。7月は隠岐島西方、北海道西方で“平年並み”、それ以外は“やや高め”～“はなはだ高め”。8月は“かなり高め”～“はなはだ高め”。
- (4) 対馬暖流域の水深50 m水温は、西部・北部ともに“平年並み”。

3. 現況（2025年9月）

- (1) 暖水域は、隠岐島西方、隠岐島北北東、若狭湾北方、能登半島北西、佐渡島北東に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、はなはだ小さく接岸距離は平年並み。山陰・若狭沖の冷水域は、規模が平年並みでかなり離岸。佐渡沖、入道埼沖の冷水域は、規模・接岸距離ともに平年並み。
- (3) 概ね“かなり高め”～“はなはだ高め”。
- (4) 対馬暖流域の水深50 m水温は、日本海西部は“かなり高め”、北部は“平年並み”。

（註）この海況予報は、国立研究開発法人水産研究・教育機構により開発され、2022年3月より運用を開始した FRA-ROMS II システムを主に用いて実施し、気象庁による北陸地方の気温の3か月予報（10月～12月）も参考にした。

引用符（“ ”）で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

- | | |
|--------------|-------------------------------|
| “はなはだ高め（低め）” | ： 22年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ（低さ） |
| “かなり高め（低め）” | ： 7年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ（低さ） |
| “やや高め（低め）” | ： 3年に1回の出現確率である1℃程度の高さ（低さ） |
| “平年並み” | ： 2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温 |

出典：国立研究開発法人水産研究・開発機構

<https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/pr2025/index.html>